

看護提供方式と患者アウトカムの関連：後ろ向きコホート研究

本研究は、琉球大学人を対象とする生命科学・医学系研究倫理審査委員会の承認を得て実施しています（許可番号 1701 変更 2）。

1. 研究の目的

病院で看護を提供する方法と入院患者の健康（外傷による頭部損傷または骨折、退院時の日常生活動作の悪化または入院中の死亡、入院 30 日以内の死亡）の関連を明らかにすることを目的にしています。

2. 研究の対象

大学病院本院および DPC 特定病院より 2016 年度～2019 年度に退院された 65 歳以上の方

3. 研究の方法

病院長の承諾を得て診断群分類研究支援機構より第三者提供していただく『患者情報』『施設情報』、質問紙調査で得られる『看護に関する情報』、一般公開されている『病院機能報告』の情報を連結してデータベースを作成し、統計的に検証します。

4. 研究に用いる患者情報の種類

患者情報は各病院で匿名化されており、氏名や住所は含まれません。本研究では、生年月日、性別、入退院日、診断情報、日常生活動作の自立度、退院時転帰、重症度、医療看護の必要度などを用います。

5. 研究期間

研究機関の長の許可日～2023 年 5 月 31 日

6. 個人情報の保護

本研究で使用する患者の情報（DPC）は、各医療機関にて匿名化され、診断群分類研究支援機構に提供されたものです。しかし、患者の生年月日や傷病名を含むため、データの利用・管理・保管は情報漏えいのないように特段の注意を払います。また、研究成果は報告書や学会等で公表する予定ですが、個人を特定するような情報が公表されることは一切ございません。

7. 研究の資金源

科学研究費助成事業 若手研究（18K17461）

8. お問い合わせ先

琉球大学医学部保健学科老年看護学分野 助教 東恩納 美樹(研究代表者)

Email: miki51@med.u-ryukyu.ac.jp

TEL: 098-895-3331（内線 2646）